

学年・教科・担当者	3年 社会 望月隼人
-----------	------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	【歴史分野】 第5部 近代(前半) ・第1章 欧米諸国における「近代化」 ・第2章 開国と幕府の終わり	○イギリスなどにおける産業革命などを取り上げ、これを通して資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。 ○欧米諸国がアジアへの進出を強めたことに着目させる。 ○幕府が対外政策を転換して開国したこと、その政治的及び社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。
	5	・第3章 新しい価値観の下で ・第4章 近代国家への歩み ・第5章 帝国主義と日本 ・第6章 アジアの強国の光と影	○近世から近代への転換のようすを、近世の政治や社会との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できるようにさせる。 ○立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。 ○条約を改正し、欧米諸国と対等の外交関係を樹立しようとした人々の努力に気づかせる。 ○日清・日露戦争に至るまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ○鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化がみられた一方で、労働問題や社会問題が発生したことに気づかせる。
	6	第6部 近代(後半) ・第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き ・第2章 高まるデモクラシーの意識 ・第3章 軍国主義と日本の行方 ・第4章 アジアと太平洋に広がる戦線	○ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気づかせるとともに、大戦がその後の国際情勢に大きな影響を及ぼしたことに気づかせる。 ○国民の政治的自覚が高まり、本格的な政党内閣による政党政治が展開したこと、女性の社会的進出が進んだことなどに気づかせる。 ○世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化、軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと、中国との戦争が長期化した経緯を理解させる。 ○大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気づかせる。
	7	第7部 現代 現在に続く日本と世界 ・第1章 敗戦から立ち直る日本 ・第2章 世界の多極化と日本の成長 ・第3章 これからの日本と世界	○国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力し、現代の日本の骨組みが形成されたことに気づかせる。 ○我が国における産業・経済や科学技術の著しい発展とそれに伴う生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、及び石油危機が経済に及ぼした影響などに気づかせる。 ○世界規模での米ソ両陣営の対立が終わったことに気づかせ、冷戦終結後の国際協調の平和外交の推進や開発途上国への援助などに着目させて、公民的分野の学習に向けた課題意識をもたせる。
2	9	【公民分野】 第1部 現代社会 ・第1章 現代社会と文化 ・第2章 現代社会をとらえる枠組み 第2部 政治 ・第1章 日本国憲法	○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ○対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ○我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。
	10	・第2章 民主政治	○個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するためには、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解させる。 ○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。

1	1 1	第3部 経済 ・第1章 市場経済	○身近な消費生活を中心に経済活動の意義，市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の問題について理解させる。 ○個人や企業の経済活動における役割と責任，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ○市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとさせる。
	1 2	・第2章 財政	○社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解する。また，財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解させる。 ○国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる
3	1 2	第4部 国際 ・第1章 国際社会	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。
	3	・第2章 課題の探究	○私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	定期テスト 小テスト 授業ワークシートなど
思考・判断・表現	定期テスト 小テスト 授業の取り組みやワークシートなど
主体的に学習に取り組む態度	授業の発言や取り組み 授業ワークシート 課題など